

「BRAIN and NERVE」第 66 巻 総目次

2014 年 (第 1～12 号)

頁数は通巻数, () 内は号数

(特 集)

〈日常生活の脳科学〉

瞬きから探る脳内情報処理機構……………中野 珠実・ 7(1)

睡眠と情動 — 情動調節における睡眠の役割

……………元村 祐貴・三島 和夫・ 15(1)

噛むことと認知機能……………平野 好幸・小野塚 實・ 25(1)

やめたいけどやめられない — 喫煙欲求と自己制御の神経機

構……………林 拓也・ 33(1)

空腹による脳機能制御……………平野 恭敬・齊藤 実・ 41(1)

「優越の錯覚」の脳内メカニズム ……山田真希子・ 49(1)

〈糖尿病の神経学 revisited〉

糖尿病患者の急性代謝失調への初期対応

……………三宅 康史・ 97(2)

糖尿病と脳梗塞……………新堂 晃大・富本 秀和・ 107(2)

糖尿病性舞踏病……………高松 和弘・ 121(2)

糖尿病と認知症……………羽生 春夫・ 129(2)

糖尿病と自己免疫性ニューロパチー

……………出口 尚寿・西尾 善彦・高嶋 博・ 135(2)

糖尿病と整形外科的神経疾患

……………夏目 唯弘・平田 仁・ 149(2)

〈神経筋疾患の超音波診断〉

手根管症候群の超音波診断……………中道 健一・ 209(3)

炎症性ニューロパチーの超音波診断……………杉本 太路

越智 一秀・細見 直永・松本 昌泰・ 223(3)

ALS の超音波診断 ……三澤 園子・ 229(3)

シャルコー・マリー・トゥース病の超音波診断

……………能登 祐一・ 237(3)

筋疾患の超音波診断

……………高松 直子・森 敦子・野寺 裕之・ 247(3)

〈タッチ・ビジョン・アクション〉

タッチと体性感覚野 — 最新の知見……………岩村 吉晃・ 319(4)

触覚における時間と空間 — 腕交差による主観的時間順序逆

転現象……………山本 慎也・ 329(4)

脳梁と体性感覚……………井堀 奈美・河村 満・ 341(4)

身体図式の障害……………鶴谷奈津子・小早川睦貴・ 351(4)

体感幻覚 — 身体の非自己化の体験

……………前田 貴記・三村 將・ 363(4)

ヒトの身体図式の脳内表現と身体的自己意識

……………内藤 栄一・守田 知代・ 367(4)

ビジョン……………泰羅 雅登・ 381(4)

視覚的注意とその制御メカニズム……………小川 洋和・ 385(4)

相貌失認・表情認知……………小山 慎一・ 393(4)

先天性相貌失認 — 症候論, 認知機能, 神経科学的研究につ

いて……………飯高 哲也・ 403(4)

アクション……………泰羅 雅登・ 413(4)

島の機能と自己感……………大平 英樹・ 417(4)

身体運動の冗長な運動記憶 — 脳内表象との関連

……………野崎 大地・ 429(4)

視覚情報に基づくアクションの神経機構

……………星 英司・ 439(4)

頭頂葉と前頭葉の機能連関と行動

……………二村 明德・河村 満・ 451(4)

〈アセチルコリンと神経疾患 — 100 年目の現在地〉

アセチルコリン概論……………森 啓・ 501(5)

アルツハイマー病の治療

……………品川俊一郎・繁田 雅弘・ 507(5)

重症筋無力症とアセチルコリン……………藤岡 俊樹・ 517(5)

神経因性膀胱 — アセチルコリンの関与を含めて

……………榊原 隆次・館野 冬樹・岸 雅彦

露崎 洋平・内山 智之・山本 達也・ 527(5)

純粋自律神経不全症とアセチルコリン — 研究史と現況

……………朝比奈正人・ 539(5)

抗アセチルコリン薬の副作用

……………岩城 寛尚・野元 正弘・ 551(5)

神経剤サリンの臨床 — 症状と治療……………柳澤 信夫・ 561(5)

〈ミラーニューロン〉

【対談】ミラーニューロンを再考する

……………村田 哲・泰羅 雅登・ 625(6)

ミラーニューロンの明らかにしたもの; 再考

……………村田 哲・前田 和孝・ 635(6)

ヒトのミラーニューロンシステム……………乾 敏郎・ 647(6)

リハビリテーションにおけるミラーニューロンの臨床応用

……………大内田 裕・出江 紳一・ 655(6)

臨床におけるミラーニューロン — 特に心的側面について

……………加藤元一郎・加藤 隆・ 665(6)	
発達とミラーニューロン……………明和 政子・ 673(6)	
〈アミロイド関連神経疾患のすべて — 封入体筋炎からアルツハイマー病まで〉	
アミロイドとは……………矢崎 正英・池田 修一・ 723(7)	
アミロイドーシスの分類	
……………三隅 洋平・安東由喜雄・ 731(7)	
封入体筋炎とアミロイド	
……………青木 正志・鈴木 直輝・ 739(7)	
家族性アミロイドポリニューロパチー — 臨床と病理	
……………小池 春樹・祖父江 元・ 749(7)	
家族性アミロイドポリニューロパチー — 肝移植の現状	
……………山下 太郎・ 763(7)	
家族性アミロイドポリニューロパチー — 新規薬物療法(ジフルニサルとタファミジス) ……関島 良樹・ 773(7)	
透析アミロイドーシスの診断と治療 — 手根管症候群を中心に……………西 慎一・ 783(7)	
AL アミロイドーシス ……鈴木 憲史・清水 淑子・ 795(7)	
AA アミロイドーシス ……吉崎 和幸・ 811(7)	
老人性全身性アミロイドーシス	
……………矢崎 正英・樋口 京一・ 817(7)	
脳アミロイドアンギオパチー	
……………坂井 健二・山田 正仁・ 827(7)	
脳アミロイドーシスとしてのアルツハイマー病	
……………東海林幹夫・ 837(7)	
プリオン病とアミロイド……………坪井 義夫・ 849(7)	
〈神経系の悪性リンパ腫 update〉	
中枢神経系における悪性リンパ腫: Overview	
……………滑川 道人・ 907(8)	
中枢神経の悪性リンパ腫の画像診断……………菅 信一・ 917(8)	
Intravascular lymphomatosis の現況	
……………児矢野 繁・橋口 俊太・田中 章景・ 927(8)	
中枢神経原発移植後リンパ増殖性疾患	
……………本田 真也・古賀 道明・神田 隆・ 947(8)	
末梢神経・筋のリンパ腫……………大矢 寧・ 955(8)	
中枢神経系の悪性リンパ腫: 治療 update	
……………中牧 剛・ 969(8)	
〈痙縮の臨床神経学〉	
痙縮の病態生理……………鏡原 康裕・ 1019(9)	
痙縮に対する治療ストラテジー……………大田 哲生・ 1031(9)	
ボツリヌス療法……………正門 由久・ 1039(9)	
痙縮に対するバクロフェン持続髄注療法	
……………内藤 寛・ 1049(9)	
痙縮の機能神経外科治療	
……………鮎澤 聡・井原 哲・青木 司・ 1057(9)	

〈分子を撃つ 神経疾患治療の新しい水平線〉

【鼎談】分子標的薬治療の未来

……………田中 良哉・山村 隆・神田 隆・ 1137(10)	
$\alpha 4$ インテグリン: ナタリズマブ ……中原 仁・ 1149(10)	
IL-6 受容体: トシリズマブ — 視神経脊髄炎への応用	
……………山村 隆・荒木 学・ 1159(10)	
CD20: リツキシマブ ……赤石 哲也・中島 一郎・ 1167(10)	
CD52: アレムツズマブ ……森 雅裕・ 1179(10)	
C5: エクリズマブ ……宮本 勝一・ 1191(10)	

〈神経症候学は神経学の“魂”である〉

シャルコー……………作田 学・ 1249(11)	
ジャクソンの運動症候論……………山鳥 重・ 1259(11)	
ガワーズ — 「神経学のバイブル」の著者	
……………廣瀬源二郎・ 1269(11)	
バビンスキー — 神経症候学への貢献	
……………古川 哲雄・ 1279(11)	
キニア=ウィルソン ……菊池 雷太・ 1287(11)	
モンラッドクローン — ノルウェーの臨床神経学者	
……………高橋 昭・ 1293(11)	
ワルテンベルク……………葛原 茂樹・ 1301(11)	
クリッチュリー……………木村 暁・ 1309(11)	
チャールズ ミラー フィッシャー — 偉大なる観察者	
……………福武 敏夫・ 1317(11)	
ゲシュヴィンド — 人と業績……………櫻井 靖久・ 1327(11)	
マースデン — 生理学的基礎知識に基づいた優れた臨床神経学者……………宇川 義一・ 1337(11)	
ハンス リューダース……………辻 貞俊・ 1346(11)	
田邊敬貴 — 神経精神科医として王道を行く	
……………橋本 衛・福原 竜治・池田 学・ 1355(11)	
ホッジス — 神経症候学と神経心理学の融合を目指して	
……………池田 学・ 1363(11)	
ボグスラブスキー……………山本 晴子・ 1372(11)	
〈Orthopaedic Neurology — 神経内科と整形外科の狭間で〉	
神経痛性筋萎縮症……………福島 和広・池田 修一・ 1421(12)	
胸郭出口症候群……………園生 雅弘・ 1429(12)	
特発性前骨間神経麻痺と特発性後骨間神経麻痺の病態解明と治療方針確立の試み — 神経痛性筋萎縮症として保存的に治療すべきか否か……………越智 健介・加藤 博之・ 1441(12)	
モートン病……………磯本 慎二・田中 康仁・ 1453(12)	
医原性末梢神経損傷……………堀内 行雄・ 1459(12)	

(総 説)

ICU-acquired weakness — 重症患者に生じるポリニューロパチー, ミオパチー……………武居 哲洋・ 161(2)	
パーキンソン病における認知機能と運動症状との関連	

…………村上 秀友・河村 満・171(2)
筋強直性ジストロフィー研究の現在
…………趙 一夢・石浦 章一・259(3)
視神経損傷モデルにおける神経再生、神経回路再形成および
視機能回復の分子機構
…………郡山 恵樹・栗本 拓治
シウマラ デリマラリー ベノヴィッツ・265(3)
脳活動から探る夢の内容
…………堀川 友慈・神谷 之康・461(4)
軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
(HDLS) と CSF-IR 遺伝子変異
…………今野 卓哉・他田 正義
他田 真理・西澤 正豊・池内 健・581(5)
神経疾患のエピゲノム——脳機能障害を理解する新しい指標
…………久保田健夫・平澤 孝枝・三宅 邦夫・591(5)
哺乳類概日時計の階層的制御
…………大出 晃士・上田 泰己・681(6)
Alzheimer's Disease Cooperative Study (ADCS)
…………森 啓・池内 健・691(6)
ANCA 関連血管炎による末梢神経障害の診断と治療
…………服部 直樹・857(7)
ヒステリー（転換性障害）の神経学……園生 雅弘・863(7)
サルコイドニューロパチー…………古賀 道明・981(8)
シナプスにおける GABA の新しい役割
…………葉山 達也・河西 春郎・987(8)
脳の機能発達を担うシナプス刈り込みの機構
…………上阪 直史・川田 慎也・狩野 方伸・1069(9)
マルキアファーク・ビニャミ病の画像診断
…………黒田 岳志・河村 満・1079(9)
多発性硬化症における認知機能障害……越智 博文・1201(10)
認知症とてんかんの交差点…………岩田 淳・1379(11)
封入体筋炎の病態と原因
…………村田 顕也・伊東 秀文・1385(11)
脊髄性筋萎縮症の最近のスプライシング病態、治療研究
…………佐橋健太郎・祖父江 元・1471(12)
脳と脊髄との神経結合を人工的に強化する
…………加藤 健治・西村 幸男・1481(12)
(原 著)
新規抗てんかん薬へのパラダイムシフトにおけるラモトリギ
ンの有効性と役割——一施設多数例の検討からみえる治療
戦略…………山本 貴道
山添 知宏・藤本 礼尚・小林理恵子
横田 卓也・岡西 徹・内山 剛
大橋 寿彦・田中篤太郎・榎 日出夫・59(1)
認知機能変動評価尺度 (Cognitive Fluctuation Invento-

ry:CFI) の内容妥当性と評価者間信頼性の検討
…………橋本 衛・眞鍋 雄太・森 悦朗
博野 信次・小阪 憲司・池田 学・175(2)
パーキンソン病における酸化 DJ-1 測定のバイオマーカーと
しての意義の検討…………小川 郁子
斎藤 芳郎・西郷 和真・細井 幸恵
三井 良之・野口 範子・楠 進・471(4)
脊髄小脳変性症の画像診断における voxel-based morpho-
metry の有用性…………田中 伸幸・南里 和紀
田口 丈士・田中 紀子・藤田 恒夫
三苫 博・川田 明広・水澤 英洋・699(6)
カルパインノパチー (LGMD2A) の2剖検例の臨床病理学的
検討…………橋口 修二・足立 克仁
乾 俊夫・有井 敬治・柏木 節子
齋藤 美穂・香川 典子・川井 尚臣・1097(9)
(症例報告)
免疫グロブリン大量静注療法が有効であった特発性肢端紅痛
症の1例…………黒田 岳志・杉本あずさ
石垣征一郎・村上 秀友・河村 満・185(2)
くも膜下出血を合併したチャージ・シュトラウス症候群の1
例…………伊藤美以子
加藤 直樹・蘇 慶展・嘉山 孝正・283(3)
抗てんかん薬で効果を認めた音楽性幻聴の83歳男性例
…………二村 明德・加藤 大貴・河村 満・599(5)
多発脳神経麻痺を呈した IgG4 関連肥厚性硬膜炎の1例
…………津川 潤・合馬 慎二・深江 治郎
坪井 義夫・坂田 則行・井上 亨・873(7)
経口抗エストロゲン薬 (メピチオスタン) により腫瘍縮小効
果を認めた高齢者頭蓋内髄膜腫の検討
…………宮居 雅文・竹中 勝信・林 克彦
加藤 雅康・植松 幸大・村井 博文・995(8)
脳虚血症状で発症した急性大動脈解離の1例——急性期脳卒
中診断における三次元 CT 血管造影と CT 灌流画像の有用
性…………小関 宏和・黒井 康博・新井 直幸
大淵 英徳・広田 健吾・萩原 信司
谷 茂・笹原 篤・糟谷 英俊・1001(8)
眼部帯状疱疹による眼窩尖端症候群の1例
…………脇田 賢治・櫻井 岳郎・西田 浩・1103(9)
抗 NMDA (N-methyl-D-aspartate) 受容体抗体脳炎の1例
における認知機能障害の回復過程……浅井 慈子
森永 章義・山本久美子・今村 徹・1219(10)
雷鳴頭痛で発症し、後部可逆性脳症の画像を呈した片頭痛女
性…………加藤 大貴・齋藤 悠・大湾 善行
笠井 英世・藤田 和久・河村 満・1225(10)
進行性筋萎縮症の1剖検例——進行性筋萎縮症は lower-

motor predominant ALS の 1 亜型である	
……………小阪 崇幸・俵 哲	
原田 正公・高橋 毅・村山 寿彦・1405(11)	
頸部内頸動脈ステント留置直後から虚血性眼症状が改善した	
頸部内頸動脈狭窄症の 1 例……………新井 直幸	
笹原 篤・萩原 信司・谷 茂	
大淵 英徳・広田 健吾・小関 宏和	
黒井 康博・大熊 博子・松原 正男	
林 盛人・岩淵 聡・糟谷 英俊・1503(12)	
脳梗塞加療中に甲状腺クリーゼ、遷延性精神症状を呈した無	
治療パセドウ病の 1 例	
……………菊池 俊輔・緒方 利安	
深江 治郎・津川 潤・合馬 慎二	
田邊真紀人・柳瀬 敏彦・坪井 義夫・1509(12)	
(神経画像アトラス)	
脳内錐体路に異常を認めた亜急性脊髄連合変性症の 1 例	
……………江郷 茉衣・武田 貴裕	
伊藤 英一・清水 優子・内山真一郎・70(1)	
線条体内包梗塞との鑑別を要した静脈性血管腫の 1 例	
……………萩原のり子・司城 昌大	
金澤 有華・脇坂 佳世・荒川 修治・706(6)	
複視と眼瞼下垂を呈した多発血管炎性肉芽腫症(ウェグナー	
肉芽腫症)の 1 例……………北原真紀子	
金澤 雅人・畠山 公大・柳村 文寛	
坂上 拓郎・河内 泉・西澤 正豊・880(7)	
Isolated cerebellar hemiatrophy の 1 例	
……………岩波 久威・岩崎 晶夫	
岡村 穂・川崎亜紀子・定 翼	
中村 利生・国分 則人・平田 幸一・882(7)	
(Neurological CPC)	
若年期からのてんかん加療中に認知障害と海馬硬化を呈した	
61 歳男性例……………大本 周作	
福田 隆浩・新井 信隆・鈴木 正彦	
横地 正之・河村 満・後藤 淳	
織茂 智之・藤ヶ崎純子・星野 晴彦・1109(9)	
(Neurological CPC 特別編)	
疾患概念はどう変わったか — Neuro CPC 10 年間の症例を	
振り返って	
……………中野 今治・横地 正之・河村 満	
後藤 淳・織茂 智之・福田 隆浩	
藤ヶ崎純子・鈴木 正彦・星野 晴彦・885(7)	
(紙上討論)	
人間以外の動物に「文法」は使えるのか?	
……………尾島 司郎・宮川 繁・岡ノ谷一夫	
成田 広樹・飯島 和樹・酒井 邦嘉・273(3)	

人物誤認は妄想か錯覚か?	
……………村井 俊哉・長濱 康弘・1487(12)	
(ポートレイト)	
アンリ・エー — 神経学と精神医学…大東 祥孝・73(1)	
井村恒郎 — 脳と精神の架橋……………佐藤 裕史・611(5)	
レイモン・ガルサン — フランス神経学の伝統を支えた巨匠	
……………間野忠明・1515(12)	
(現代神経科学の源流)	
シーモア・ペンザー【前編】	
……………堀田 凱樹・酒井 邦嘉・299(3)	
シーモア・ペンザー【中編】	
……………堀田 凱樹・酒井 邦嘉・479(4)	
シーモア・ペンザー【後編】	
……………堀田 凱樹・酒井 邦嘉・605(5)	
(1 枚のスライド)	
井形昭弘……………森 啓・289(3)	
杉本八郎……………森 啓・571(5)	
(学会印象記)	
第 21 回世界神経学会議(2013 年 9 月 21~26 日, ウィーン)	
……………松本 理器・高橋 良輔・水澤 英洋・80(1)	
International Psychogeriatric Association 16th Interna-	
tional Congress(2013 年 10 月 1~4 日, ソウル)	
……………飯干紀代子・190(2)	
6th Pan-Asian Committee on Treatment and Research	
in Multiple Sclerosis (PACTRIMS)(2013 年 11 月 6~	
8 日, 京都)……………中島 一郎・192(2)	
The 5th Annual Meeting of the Society for the Neuro-	
biology of Language 2013(2013 年 11 月 6~8 日, サン	
ディエゴ)……………中井 智也・酒井 邦嘉・194(2)	
The 24th International Symposium on ALS/MND	
(2013 年 12 月 6~8 日, ミラノ) ……岩崎 泰雄・306(3)	
第 23 回欧州脳卒中学会(2014 年 5 月 6~9 日, ニース)	
……………森 貴久・896(7)	
18th International Congress of Parkinson's Disease and	
Movement Disorders(2014 年 6 月 8~12 日, ストック	
ホルム)……………久保紳一郎・1120(9)	
The 20th Annual Meeting of the Organization for	
Human Brain Mapping(2014 年 6 月 8~12 日, ハンブ	
ルグ)……………横山 諒一・1230(10)	
9th Federation of European Neuroscience Societies	
Forum of Neuroscience(2014 年 7 月 5~9 日, ミラノ)	
……………倉岡 康治・1232(10)	
7th Conference of the Peripheral Nerve Society/Inflam-	
matory Neuropathy Consortium Meeting	
……………小池 春樹・1410(11)	

The 6th Annual Meeting of the Society for the Neurobiology of Language (SNL) 2014

……………山本香弥子・酒井邦嘉・1522(12)

The 2014 Joint ACTRIMS-ECTRIMS Meeting (MSBOSTON 2014) ……………中島 一郎・1524(12)

(連載 病態解明・新規治療を目指した神経疾患の患者レジストリシステム)

(1)筋萎縮性側索硬化症: JaCALS ……熱田 直樹

中村 亮一・渡辺はづき・祖父江 元・1090(9)

(2)痙性対麻痺: JASPAC ……………瀧山 嘉久・1210(10)

(3)筋ジストロフィー: Remudy

……………木村 円・中村 治雅・西野 一三・1396(11)

(4)ギラン・バレー症候群: IGOS

……………海田 賢一・楠 進・1496(12)

(連載 神経疾患の疫学トピックス)

(4)パーキンソン病は利き手から発症することが多い

……………桑原 聡・佐藤 泰憲・196(2)

(5)体脂肪が低いと筋萎縮性側索硬化症を発症しやすい。

……………桑原 聡・佐藤 泰憲・485(4)

(6)脊椎手術は筋萎縮性側索硬化症の進行を加速する。

……………桑原 聡・佐藤 泰憲・709(6)

(7)糖尿病は筋萎縮性側索硬化症の発症を4年間遅らせる。

……………桑原 聡・佐藤 泰憲・1006(8)

(8)筋萎縮性側索硬化症は自己免疫疾患との合併が多い。

……………桑原 聡・佐藤 泰憲・1235(10)

(9)塩分摂取は多発性硬化症の再発・重症化リスクを上昇させる。……………桑原 聡・佐藤 泰憲・1527(12)

(連載 神経学を作った100冊)

(85)ウィルソン『神経学』(1940)……………作田 学・88(1)

(86)ティネル『神経外傷——戦争外傷による末梢神経障害の症候学』(1918)……………作田 学・198(2)

(87)マグヌス『姿勢』(1924)……………作田 学・308(3)

(88)メリット『神経学教科書』(1955)……………作田 学・490(4)

(89)ラモニ-カハール『人および脊椎動物の神経系組織学』(1909, 1911)……………作田 学・616(5)

(90)シェリントン『神経系の統合作用』(1906, 1947)

……………作田 学・712(6)

(91)フルトン『神経系の生理学』(1938)

……………作田 学・898(7)

(92)シュピールマイヤー『神経系の病理組織学』(1922)

……………作田 学・1010(8)

(93)ウォルフ『頭痛と他の頭部痛』(1948)

……………作田 学・1126(9)

(94)ブルンストローム『片麻痺における運動療法』(1970)

……………作田 学・1238(10)

(95)ペンフィールド『てんかんと大脳局在』(1941)

……………作田 学・1412(11)

(96)ヘンシェン『大脳の病理の臨牀的, 解剖学的寄稿集 第7巻——運動性失語と失書』(1922)

……………作田 学・1530(12)

(特別寄稿)

レヴィ小体の命名をめぐって——平山恵造先生の手紙から

……………河村 満・488(4)

(追悼)

酒田英夫博士……………泰羅 雅登・85(1)

中野今治先生を偲ぶ……………岡本 幸市・1124(9)